

1 管理運営業務の基本方針について

- (1) 重点項目
- (2) 数値目標

(1) 重点項目

「地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、及びスポーツ、レクリエーション、クラブ活動を通じて相互の交流を深める場としての地区センターを運営すること」。横浜市地区センター条例ではこのように設置目的が示されています。野毛地区センターはこの設置目的を達成するため、中区区民活動支援協会及び他館と共に地域活動の中核的施設であるという認識を持って、次のことを基本として管理運営します。

- (ア) 誰もが利用しやすく、親しまれる地区センターであること。
- (イ) 利用者の安全・安心が確保された地区センターであること。
- (ウ) 利用者のニーズを把握し、応えていく満足度の高い地区センターであること。
- (エ) 住み慣れた地域で暮らせるよう、支え合い助け合う地域づくりのために、子育て支援や高齢・障害者支援、健康づくりや災害等への協力体制づくり等、区の重点施策を共有し支援すること。
- (オ) 施設の適確な維持・管理及び事業の効率、効果的な運営を行うこと。

(2) 数値目標

利用者数 76,100人(27年度実績の 1,0%増)

稼働率 79.6%(27年度実績の 1,0%増)

自主事業等のタイムリーなホームページでのお知らせ、魅力ある地区センター便りの発行等広報の充実に努めるほか、会議室、和室、料理室等が多目的に利用できるよう環境の整備をはじめ利用PRに努め、より多くの方々の利用促進を図ります。

参考

平成27年度実績

利用者数 75,352人

稼働率 78.7%

2 組織体制

- (1) 管理運営に必要な組織、人員体制
- (2) 個人情報保護等の体制と研修計画
- (3) 緊急時の体制と対応計画

(1) 管理運営に必要な組織、人員体制

職員の配置は、利用者の利便性、安全性の確保と館内の運営維持のために、管理責任者の館長1名、管理及び企画を行う主任2名と運営にあたるスタッフ8名（運営スタッフ6名、美化スタッフ2名）を配置します。さらにイベントやスタッフの急な不在に備えて「応援スタッフ」制度を利用し、人員増加の抑制と効率的な人員配置を行います。

館長	常勤	1名	運営管理の総括、職員の指導監督
主任	常勤	2名	自主事業の企画実施、庶務、経理、スタッフの指導、補助
スタッフ(運営担当)	時給	6名	・利用申込の受付・案内・対応、各種器具・備品の貸出と点検 ・館内外の整理・清掃、簡単な修理等の施設管理 ・館長・主任の事務補助
スタッフ(美化当)	時給	2名	清掃

館長と常勤職員は、日・祝日、早番・遅番等勤務区分毎に必ず1名以上配置し、スタッフを統率します。スタッフは3名ずつ（A、B、Cの3班で各1人）の2チームに分かれ、半月毎に交代勤務し、館の運営業務にあたります。各班は午前・午後・夜間の区分毎に1名を配置します。なお、採用については採用委員会を設置し、公正を期して適材を得ることとします。当施設の特色に応じ、原則、公募により複数審査委員で選考します。

(2) 個人情報保護等の体制と研修計画

ア 個人情報保護等の体制

当協会は「個人情報保護法」「横浜市個人情報の保護に関する条例第4条」「個人情報取扱特記事項」に基づき、個人情報の取扱いに慎重に対処し、個人の権利を侵害しないことを徹底します。

当協会は定款で「個人情報保護に万全を期する」ものと定め、次の具体的措置を講じています。

- ・個人情報保護推進委員会を協会内部に創設するとともに「個人情報保護方針」を制定し、館内に掲示し、利用者に個人情報の厳正な取扱いの徹底を公表します。また、「個人情報保護規定」、「個人情報保護マニュアル」を作成し、職員に個人情報保護を徹底します。
- ・館長を個人情報保護責任者とし、個人情報の保護及び厳正な取扱いを徹底します。
- ・年に一度、職員やスタッフに対し研修を実施し、業務上必要な情報管理として申込書、掲示物や広報誌等の肖像や氏名、肩書等にも配慮した個人情報取扱特記事項の遵守、利用・取得に関するルールや適正・安全な管理、第三者提供に関するルール、開示や利用停止請求ルール、罰則等について確認します。
- ・職員全員が、個人情報保護に関する誓約書を毎年区に提出します。
- ・横浜市が規定する個人情報特記事項についても毎年点検・評価を行います。また自主チェックリストにより、個人情報保護の実施状況を毎年点検します。

個人情報の保護に関して疑念及び問題が生じたときには区に相談し、その指示に従って対応し、緊急に事実関係を調査し、区に報告し、適切な改善を進めます。

イ 研修計画

地区センター設立趣旨や「地区センターは利用者のものである」という館長憲章を理解し、常に利用者の立場に立って業務に当れるよう、「年間研修計画」を作成し、実行します。全員が集合して行う全体研修は年2回実施し、館長以下全員必修とします。また必要があれば、積極的に外部への見学・研修参加を行います。研修は座学と合わせ、事例を中心としたロールプレイング等の実践的なものに重点を置きます。

①接遇研修…接遇は、利用者の好感度や満足度の向上に直接繋がります。

子ども、高齢者や障害者など相手に合わせた対応が出来るよう、事例を元に実践的な研修を行います。

②業務研修…年2回の集合研修以外に、日常業務を通じた OJT やミーティングを実施します。対応で気にかかった事案などをもとに、対処方法について意見交換をします。

③個人情報保護の取扱いについての研修…個人情報の取扱い並びに横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく刑罰の内容及び民事上の責任等にかかわる研修を実施します。

④救急救命研修…全職員が講義と実習、又は AED 操作を含む動画による救急救命の研修を年に1回以上受講します。

⑤人権研修…当協会主催の人権研修を受講します。

(3) 緊急時の体制と対応計画

当施設は、中心市街地にある商業ビルの3階に立地しており、防犯・防災においてもビルの他のテナントと緊密な連携体制を取っています。合わせて近隣住民や地域自治会とも連携対応も進めます。当施設は区の防災計画により、災害時等の補完施設及び中区災害対策本部支援施設として位置付けられているので、「災害時等対応マニュアル」を作成し、市や区役所、協会、地域自治会と協力し、災害時等に対処します。

ア 防犯、防災の対応について

① 防災の対応策

- ・「防火管理規定」、「地震等緊急時対応マニュアル」及び、横浜市や区の防災計画に合わせた「災害時等対応マニュアル」を定め、災害時の対応を規定するとともに関係する地域や関連諸機関の連携を明らかにしています。
- ・ビルの総括防火管理者の下、地区センターの防火管理者を定め、ちえるる野毛ビルと連携して防災管理を行います。
- ・野毛地区センター消防計画をもとに、自衛消防隊（防災も兼ねる）を組織し、災害に対処します。そのために、防災訓練や定期的な消防訓練を年2回実施します。このほか、ビル全体で行われる消防訓練にも参加し、利用者の安全度を高めます。
- ・台風や地震等の自然災害が発生し、危険が予測される場合は、区役所と相談の上、館長の判断で閉館等の対応をします。
- ・日頃から地元自治会との連携を密にして、災害時に円滑な対応ができるようにします。
- ・緊急時には、区役所と連携し、当施設を近隣住民の避難場所として開放し、有効に活用します。

② 防犯の対応策

- ・館長と主任が随時巡回するほか、ビルの警備員が1日7回程巡回します。
- ・受付には「非常サイレン」を設置し、犯罪抑止と非常時の警報を兼ねます。
- ・盗難等があった場合は、至急警察へ届けるとともに区役所へ連絡し、指示を受けます。

イ その他、緊急時の対応について

緊急時に適切に対応するためには、十分な準備をしておくことが大切です。緊急時の対応は「緊急時に備えた準備」と「緊急時の対応」の2つに分けて考えます。

① 緊急時に備えた準備

- 施設の警備室や協会本部、区役所と連携した「野毛地区センター地震等緊急時対応マニュアル」を準備しています。
- 開館時及び閉館時の緊急時連絡体制表を作成し、職員やスタッフが予測しうるさまざまな緊急時体制について日頃からミーティングを行い、理解し実行できるようにします。
- 非常時に対処するため、予備の鍵を区・協会、警備室に保管します。

② 緊急時に備え、年に1度事故防止および対応の研修を実施します。

- 利用者に怪我や病気等が起きた場合は、「野毛地区センター地震等緊急時対応マニュアル」に基づき、職員が応急処置を行います。特に意識や呼吸のない場合はAEDを使い直ちに救命救急措置をとり、救急車を要請し救急搬送します。応急措置後には、区役所や協会本部へ連絡します。

野毛地区センター事業計画書

3 施設の運営計画

- (1) 地域との連携に関する計画について
- (2) 広報及び利用促進策について
- (3) 利用料金の設定について（※地区センターのみ該当）
- (4) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法
- (5) ニーズ対応費の使途について（※地区センターのみ該当）
- (6) 個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- (7) その他利用者サービス向上の取組について

(1) 地域との連携に関する計画について

ア 市の中心市街地に位置する地区センターである野毛地区センターの役割は、自治会町内会、元気づくり推進協議会など地域の振興や活動の場として、また、野毛大道芸や野毛山節等地元の伝統文化・芸能の活動の場、あるいは、相互交流の場として、野毛地区の中心的な施設であるとの認識の基に地域ニーズに
応え、運営をしていきます。

イ 野毛地区センターは中区と連携を図りながら行う高齢者向けの事業や子育て支援事業、地域に密着した講師等による各種自主事業の場として、あるいは生涯学習・スポーツなど、様々な団体のサークル活動の場として、あらゆる階層の地域住民にとって、なくてはならない身近な存在となっています。

ロビーは、保護者と一緒におもちゃで遊ぶ乳幼児から、ゲームをしたり本を読む小中学生、勉強に来る大学・高校生、女性の団欒や、囲碁・将棋を楽しむ人たち等、世代を超えて幅広い人達の交流の場となっています。

ウ 野毛地区センターは近年、団体利用が増加して会議室等を予約できずにいる方が増えてきています。近隣のにぎわい座、ふりーふらっと等の公共施設と連携し、会議室等の空き情報や自主事業を利用者に提供するなど、施設相互で協力します。

(2) 広報及び利用促進策について

設置理念の「住民の自主的活動や相互交流を促進する場」として、できるだけ多くの方々に当施設を利用していただくために、特に次の2点に重点を置き利用促進を図ります。

ア 広報の充実と利用の促進

- ①タイムリーにホームページを更新し、自主事業やイベントなどのホットな情報を紹介することで、当施設の魅力を多くの人に伝えるとともに利用者の便宜を図ります。
- ②地区センター便りを定期的に発行し、地域の自治会や公共施設等に広く配布することで、地区センターの魅力を地域住民に周知します。
- ③広報区版や交通局の広報誌、タウン情報誌を積極的に活用し、イベントや自主事業などの情報を区にとらわれず沿線情報として幅広く広報します。

イ 部屋の使い方の工夫（多目的利用の推進）

会議室等の利用を「会議」に限定せず、割引と併せてダンス、楽器演奏等の多目的利用を推進し、利用者のニーズに合わせた便宜を図ることで、利用の促進につなげます。また、和室について演劇や少人数の楽器演奏などにも使えるよう、引き戸の防音性を高めて利用用途を拡大しています。

(3) 利用料金の設定について

利用料金の設定の単価は、平成17年6月に市民局区連絡調整課で示された基準単価4.6円/m²/時間(料理室5.3円/m²/時間)を上限とし設定しています。(1円単位四捨五入)

多くの人に利用していただき、「地域住民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、相互交流を深めて地域コミュニティの形成に寄与する」という施設の設置目的を実現するために、平等性・公平性を確保しながらも、利用者が利用しやすいように、次のような料金の割引などを行います。

- ① 公的利用、高齢者・障害者福祉や子育て支援・青少年の健全育成利用には、利用料の減免を行います。
- ② 各部屋は目的に応じた方法を使用することを原則としますが、希望の部屋が埋まっている場合、他の部屋を案内します。また、料理以外で利用する場合、料理室は割引料金とします。
- ③ 比較的利用率の低い午後②の時間帯については、他の時間帯から2割引の料金とします。
- ④ 当日申し込みの場合は、通常の申込の場合の半額の料金とします。
- ⑤ 利用当日、部屋が空いている場合は1時間単位で利用延長を可能とします。

野毛地区センター利用料金表

室名	算定面積 m ²	単価 円/ m ² ・時間	利 用 料 金 (円)							
			1時間 当たり	午前・午後①・夜間		午後②				
				通常申込	当日申込	平日・土曜		日・祝		
						通常申込	当日申込	通常申込	当日申込	
一般 利用 施設	会議室	48.1	4.6	220	660	330	520	260	340	170
	集会室	159.8	4.6	740	2,220	1,110	1,770	880	1,180	590
	工芸室	51.2	4.6	240	720	360	570	280	380	189
	料理室 ※1	50.0	5.3	270	540	270	540	270	540	270
	料理室 ※2	50.0	4.4	220	440	220	440	220	440	220
用分 施設 割利	和室(全体)	82.8	4.6	380	1,140	570	910	450	600	300
	和室(1/2)	41.4	4.6	190	570	280	450	220	300	150

※1 1コマは3時間、料理室のみ1コマ2時間とします。

※2 料理以外で利用の場合の料金です。

(4) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法

当地区センターは乳幼児から高齢者、女性や男性、外国人と様々な方が利用します。ニーズはそれぞれ異なりますが、可能な限り応えていく事が求められます。利用者ニーズは次の方法で把握します。

- (ア) 毎年1回以上の利用者会議を開催し、利用者から直接意見を求めます。
- (イ) 毎年1回以上の利用者アンケートと自主事業毎のアンケートを実施し、ニーズを把握します。
- (ウ) 来館者から直接受けとる声や「ご意見箱」への意見、自治会町内会などの地域関係者、団体からの声等により、普段からニーズ把握に努めます。

このように収集した利用者ニーズは検証・精査し、地域連絡会に諮り、優先順位を付けて日常業務や管理運営に反映させると共に、各種マニュアルの改訂や次年度計画に反映させます。

(5) ニーズ対応費の使途について

利用者ニーズへの対応は、利用料収入の1/3を予算に盛り込み、ニーズ対応費に充てます。主な用途としては「センターまつり」などの大規模な事業、修繕の必要な設備、利用者のニーズのある備品、人気のある自主事業で追加の実施の要望があった場合などに対応していきます。

(6) 個人や団体に対する相談、調整助言などについて

ア 地域の活動に参加したい、あるいは趣味を広げて生活を充実させたい等の相談には、当センターの自主事業や中区内の他の施設で活動している団体の紹介等を行います。

イ 部屋の貸出しを通じて、サークル活動のきっかけ作りを支援します。個人情報の保護に配慮しながら、協会や当センターのホームページの「お仲間募集」、掲示板やセンターまつりでの紹介など、サークル活動のPRの場を提供します。併せてサークル活動の自主化に向けたサポートも積極的に行います。

(7) その他利用者サービスの向上について

ア お客様への接遇がサービスの基本になります。H28年4月施行の「障害者差別解消法」の趣旨も踏まえ、常に思いやりと気配りをもって、皆様が気持ちよく利用できる地区センターを目指します。

イ 常に利用者ニーズの把握に努め、利用者ファーストの事業に取り組みます。

ウ 毎日の点検、清掃などを通し安全で清潔な、気持ちよく利用できる地区センターを目指します。

エ お部屋、備品など、快適な利用環境の保全に努め、満足度の向上に取り組みます。

野毛地区センター事業計画書

4 施設の維持管理計画

当施設を安心して、気持ちよくご利用いただくために、中区との協定書を遵守し、法定点検を基本とする施設維持管理計画を実施します。この法定点検等につきましては、専門の管理事業者と委託契約を締結し、実施します。なお建物・設備の管理は一部を除き「ちえるる野毛管理組合」が実施します。

ア 建物・設備等の保守管理

建物・設備等については、日頃から職員が館内の点検や日常清掃の際に併せて点検を行い、不具合のある箇所を業務日報・業務日誌で報告し、修理は、軽微なものは職員の手で行い、経費の節減に努めます。大規模な修繕を伴う場合には、中区役所と協議し修繕の対応を図ります。

イ 清掃・植栽管理

清掃・窓ガラス清掃は専門業者に委託して年6回実施します。日常清掃は、「日常清掃チェックリスト」に従って美化担当スタッフが、毎日午前中に実施します。このほかトイレなど汚れやすいところについては、他の職員も含め、随時清掃します。

横浜市と連携し「緑化フェア」の一環でバルコニーの植栽を整え、職員と近隣の保育園園児ボランティアによる手入れを行います。

野毛地区センター 建物設備管理計画表

項目	業務	実施担当	頻度
日常 管理	建物設備維持管理	職員	毎日
	機械警備点検	職員	常時
	清掃業務	職員	毎日
	小破修繕	職員	随時
衛生 管理	設備総合巡視点検	外部委託	1回/月
	電気設備巡視・定期点検（高圧受電以上）	外部委託	1回/月
	非常用発電機点検	外部委託	2回/年
	中央監視装置点検	外部委託	1回/年
	空調自動制御点検	外部委託	2回/年
	空調設備巡視・定期点検	外部委託	1回/月、2回/年
	熱源機器等点検	外部委託	2回/年
	建築設備	外部委託	1回/年
	空気環境測定	外部委託	1回/2月
	害虫駆除	外部委託	2回/年
	汚水槽・雑排水清掃	外部委託	2回/年
	ウォータークーラー	外部委託	1回/年
	レジオネラ菌分析	外部委託	2回/年
	グリストラップ等の清掃	外部委託	1回/年
建物 等	建築設備	外部委託	1回/年
	消防用設備点検	外部委託	2回/年
	防火対象物定期点検	外部委託	1回/年
	放送設備点検	外部委託	1回/年
	ガス監視装置点検	外部委託	1回/年
	昇降機点検 月次及び建築基準法	外部委託	1回/月、年1回
	自動ドア点検	外部委託	3回/年
	非常通報装置点検	外部委託	2回/年
	建築物建物点検	外部委託	1回/3年
	雨水槽清掃	外部委託	1回/3年
清掃 等	清掃業務	外部委託	6回/年
	植栽剪定・草刈	外部委託	1回/年

横浜市野毛地区センター自主事業計画書

団体名

一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額						備考
	②募集人数(延べ)	総経費	収入		支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他	
おもちゃの病院 年3回	① 幼児	12,000	12,000	0	9,000	0	3,000	新規・継続
	② 30人							
	③ 無料							
「ぼっぼっぼっ」と あそぼう! 年6回	① 未就園児と保護者	21,000	21,000	0	21,000	0	0	新規・継続
	② 20組240人							
	③ 無料							
おやこであそぼう! 年6回	① 未就園児と保護者	21,000	21,000	0	21,000	0	0	新規・継続
	② 20組240人							
	③ 無料							
星にねがいをこめて ～七夕～	① 全般	3,000	3,000	0	0		3,000	新規・継続
	②							
	③							
Enjoy! ハロウィン	① 小学生以下	10,000	10,000	0	0		10,000	新規・継続
	② 150人							
	③ 無料							
パパママいっしょに 年1回	① 小4までの親子	21,800	11,000	10,800	8,000	10,800	3,000	新規・継続
	② 9組18人							
	③ 1,200円							
キッズキッチン 年2回	① 小学生以下	36,800	20,000	16,800	10,000	16,800	10,000	新規・継続
	② 24人							
	③ 700円							
お味噌作りに挑戦! 年2回	① 一般	70,000	10,000	60,000	10,000	60,000	0	新規・継続
	② 24人							
	③ 2,500円							
シニアのための タブレット講座 全4回	① 一般	44,000	20,000	24,000	20,000	24,000	0	新規・継続
	② 48人							
	③ 500円							
井戸端交流コンサート	① 一般	40,000	0	40,000	0	40,000	0	新規・継続
	② 80人							
	③ 500円							
シニアのきらめき ストレッチ 全10回	① シニア	125,000	50,000	75,000	50,000	75,000	0	新規・継続
	② 150人							
	③ 500円							
野毛店主の料理 年6回	① 一般	140,400	30,000	110,400	20,000	110,400	10,000	新規・継続
	② 92人							
	③ 1200円							
ごはんて世界一周!! 年6回	① 一般	126,000	30,000	96,000	30,000	96,000	0	新規・継続
	② 96人							
	③ 1,000円							

横浜市野毛地区センター自主事業計画書

団体名

一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額						
	②募集人数(延べ)	総経費	収入		支出			備考
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他	
季節の着つけ 全5回	① 一般	40,000	25,000	15,000	25,000	15,000	0	新規・継続
	② 30人							
	③ 500円							
楽しくクリスマス	① 全般	20,000	20,000	0	10,000	0	10,000	新規・継続
	②							
	③ 無料							
ボイストレーニング 全6回	① 成人	60,000	30,000	30,000	25,000	30,000	5,000	新規・継続
	② 60人							
	③ 500円							
楽しく手づくり	① 一般	222,000	72,000	150,000	65,000	150,000	7,000	新規・継続
	② 100人							
	③ 1500円							
センターまつり	①	20,000	20,000	0	20,000	0	0	新規・継続
	②							
	③							
あなたも 防災・減災 プロフェッショナル	① 全般	10,000	10,000	0	10,000	0	0	新規・継続
	② 80人							
	③ 無料							
野毛山動物園に 行こう!	① 小学生～	22,000	10,000	12,000	0	12,000	10,000	新規・継続
	② 30人							
	③ 300円							
鉄道フェスタ	① 全般	30,000	30,000	0	10,000	0	20,000	新規・継続
	② 100人							
	③ 無料							
省エネ!エコ生活!	① 一般	50,000	10,000	40,000	10,000	40,000	0	新規・継続
	② 80人							
	③ 500円							
ふれあい親子 コンサート	① 親子	15,000	15,000	0	15,000	0	0	新規・継続
	② 30組60人							
	③ 無料							
あなたも今日から… 収納上手! 年2回	① 一般	35,000	10,000	25,000	10,000	25,000	0	新規・継続
	② 50人							
	③ 500円							
パラスポーツに挑戦! ～ボッチャ～ 全5回	① 小学生～	60,000	10,000	50,000	10,000	50,000	0	新規・継続
	② 100人							
	③ 500円							
花と緑と ふれあおう!	① 全般	81,000	66,000	15,000	10,000	15,000	56,000	新規・継続
	② 50人							
	③ 300円							
合 計		1,336,000	566,000	770,000	419,000	770,000	147,000	

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃの病院	<p><目的> おもちゃを修理することによって、ものの大切さを学びます。また修理する過程を見学することもできるので、その仕組みなど、子どもたちに興味を抱いてもらう機会にもなります。</p> <p><内容> 中区おもちゃのドクターネットワークに依頼し、ボランティアで修理をお願いします。基本的に無料ですが、特殊備品等実費で修理となります。</p>	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「ぽっぽっぽっ」とあそぼう！	<p><目的> 子育て支援講座です。親子または親子間の交流を図る講座です。</p> <p><内容> 年6回、親子向けに開催します。リズムに合わせて体操をしたり、絵本の読み聞かせの他、手遊び、パネルシアター、手袋人形、手遊びなどで楽しい時間を過ごします。</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこであそぼう！	<p><目的> 子育て支援講座です。親子または親子間の交流を図る講座です。</p> <p><内容> 年6回、音楽に合わせて、楽しく体を動かし、遊びを通して親子でのスキンシップを深めます。</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星にねがいをこめて ～七夕～	<p><目的> 日本の伝統的な季節の行事を楽しみます。利用者に短冊を書いていただくようにお勧めする時に、楽しいコミュニケーションが図れます。</p> <p><内容> 館内の笹にお願いごとをしたためた短冊をさげます。老若男女たくさんの来館者に参加していただき楽しみます。</p>	6月中旬～7/7

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Enjoy! ハロウィン	<p><目的> 地域の商店や施設と協力して、季節の行事を楽しみます。近隣施設と協力しながら地域力を高めます。</p> <p><内容> 館内をハロウィン仕様に飾り、着飾った子どもたちとコミュニケーションを取りながら、お菓子を配り楽しみます。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパママ いっしょに	<p><目的> 4歳から小学4年生までの子どもと親が、ペアになってお料理に挑戦します。親子で、共同作業を行うことで、思い入れのある一品を作ります。父親の参加も増えている、継続での開催です。</p> <p><内容> 親子で楽しみながら作ることができるメニューを毎回考え（手作りソーセージなど）ベテランスタッフが、親子をサポートします。父親も参加しやすいボリュームメニューを企画しています。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズキッチン	<p><目的> 料理を作ることを通して、食べることの大切さについて考え学びます。小学生が自分たちで作った料理を食べる楽しさを味わうだけでなく、片付けまでしっかりと体験します。</p> <p><内容> ベテランママのサークルが、子どもたちにこまめに声掛けをしながら指導します。だしも昆布とかつお節からとるなど、毎回テーマを絞った献立で本格的な料理を作ります。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お味噌作りに 挑戦！	<p><目的> おいしいお味噌を手作りする講座です。防腐剤や添加物のない食品を手作りし、健康について考えます。</p> <p><内容> 前日の豆洗い、当日は大豆を煮るところからすべて体験し、来年は自分でも作ることができるようになります。お昼は講師の手作り味噌を試食する軽食付き。毎年開催しており、リピーターも多く、年2回開催を予定します。</p>	年2回

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアのためのタブレット講座	<p><目的> タブレットに実際に触れてみて、基本的な操作はもちろんのようなことができるのか。また持っているけれどより使いこなしたい！という方にもおすすめの講座です。お互いにタブレットに触れながら交流を深めます。</p> <p><内容> タブレットに興味や疑問をお持ちの方が対象の講座です。講師に直接質問をすることができる人気講座です。（タブレットの貸出しもあります）</p>	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
井戸端交流コンサート	<p><目的> 野毛地区センターの自主事業よりサークル活動がはじまった団体が主催となつての発表会です。</p> <p><内容> のげとも童唱会が中心となつて、ほかのサークルとの交流を図りながら、参加者と一緒に童謡や唱歌を歌う、参加型のコンサートです。自主事業としてサポートします。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアのきらめきストレッチ	<p><目的> シニアの健康維持のための講座です。身体を動かしたいシニアが気軽に集まり、お互いにより健康について考えます。</p> <p><内容> リズムに合わせて身体を動かしたり、ゆっくりとストレッチを行う等、無理なく生活に必要な筋力を高める運動を行います。</p>	全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野毛店主の料理	<p><目的> 野毛地区の有名料理店の店主に協力を仰いだ料理教室です。野毛の味を知ってもらうことで地域の活性化にもなります。</p> <p><内容> 近隣の店主から、その道の料理のちょっとしたコツや味付けの極意を学びます。長年続く人気料理教室です。</p>	年4回

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ごはんて 世界一周!!	<p><目的> 外国人が多く住む中区。「食」（試食）のキーワードを交えながら、より多く異文化に触れる機会を設けたいと考え計画した講座です。各回1ヶ国ずつ巡ります。</p> <p><内容> 前半はテーマの国が世界地図でどこにあるか、言語等の基本情報などについての講義。後半はその国の簡単な料理を参加者で味わいながら、より興味を深めます。</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
季節の着つけ	<p><目的> 「クールジャパン」として注目を集める和服。和服をより身近に着こなしていただくために、数回に渡り、着物や浴衣の着付けについて学びます。</p> <p><内容> 日頃から和服を気軽に着こなせるよう、着崩れないコツをしっかりと学びます。</p>	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しくクリスマス	<p><目的> クリスマスという季節を楽しむイベントを考えます。</p> <p><内容> 手芸や料理など、クリスマスにちなんだ講座を企画します。また館内にクリスマスツリーを飾り、雰囲気を楽しみます。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボイス トレーニング	<p><目的> おなかから声を出す発声練習を学びながら、楽しく歌います。</p> <p><内容> 毎回テーマを決めて、歌います。歌うことを楽しむとともに、みんなで声を合わせて歌うことも楽しめます。</p>	3~5回

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく手づくり	<p><目的> テーマを決めて、手作りの楽しさを体験します。</p> <p><内容> 生活を豊かにする小物や、身近なものを作って楽しみます。2～5回で出来上がる作品を作ります。</p>	4～6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
センターまつり	<p><目的> 野毛地区センターを利用している団体間、あるいは地域住民や子どもたちとの交流を深めます。また日頃の活動成果の発表をします。</p> <p><内容> 活動団体によるステージ発表や、子どもたちが楽しめるゲームなどを用意して、地域間や利用者間の交流を深めます。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたも 防災・減災 プロフェッショナル	<p><目的> 自然災害多発国の日本。地域住民が、自然災害があった場合、日頃からの備えで、少しでも自力で防災・減災ができるように開催します。</p> <p><内容> これまでの災害の歴史や防災対策について学び、正しい知識を得ることにより、いざという時のために、災害に備える姿勢を作ります。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野毛山動物園に行こう！	<p><目的> 近隣施設である野毛山動物園と共催して講座を開催します。</p> <p><内容> 普段見ることができないバックヤードの見学や動物のうんちくを聞きながら、身近な動物園の魅力に触れます。</p>	1回

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鉄道フェスタ	<p><目的> 野毛地区センターの活動団体「鉄道友の会」と共催で、大人も夢中になる鉄道模型の運転会を行います。</p> <p><内容> 大型の鉄道模型の運転会を楽しみます。小さな鉄道模型は子供でも運転することができます。仕組みや、作品については鉄道友の会の会員による丁寧な説明もあり、鉄道の奥深さを身近に体験できます。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
省エネ！ エコ生活！	<p><目的> 電力や都市ガスの自由化の話と夏に向けての省エネ対策講座です。</p> <p><内容> 家庭によって使い方の異なる電力。各家庭の電力の使い方を講義やチェックシートなどを用いて見直します。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい親子 コンサート	<p><目的> 本格的な音楽や楽器にふれあうことで、幼いうちから音感や感性を育む機会を持ちます。</p> <p><内容> 幼い子どもと一緒に、または親子間で音楽を楽しめるコンサートを企画します。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたも今日から 収納上手！	<p><目的> 家の中をすっきり快適にして、時間も頭も心もスッキリさせます。講座を終えてからすぐに取り組むことができる内容です。</p> <p><内容> 専門の講師を招き、整理・収納を学んで、地域を笑顔にします。</p>	1回

横浜市野毛地区センター自主事業別計画書（単表）

（様式4）

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
<p>パラスポーツに 挑戦！！ ～ボッチャ～</p>	<p><目的> パラリンピックの種目の一つでもある「ボッチャ」。障がい者のみならず、幅広い方々に楽しめるスポーツであることを体験し、理解を深めます。</p> <p><内容> 練習やミニゲームをして楽しみます。新しい生涯スポーツとして楽しめる機会を作ります。</p>	<p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>花と緑と ふれあおう！</p>	<p><目的> 横浜市の推進する緑化事業と連携し、市街地の複合ビルで、美しい花と緑の空間提供するとともに、子どもたちとの交流をはかります。</p> <p><内容> ベランダを使って、花や緑の植栽空間を整えます。</p>	<p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 「野毛地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	36,961,000		36,961,000		36,961,000	横浜市より
利用料金収入	4,383,000		4,383,000		4,383,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	770,000		770,000		770,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	520,000	0	520,000	0	520,000	
印刷代	212,000		212,000		212,000	
自動販売機手数料	308,000		308,000		308,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（ ）			0		0	
収入合計	42,634,000	0	42,634,000	0	42,634,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	18,800,000	0	18,800,000	0	18,800,000	
給与・賃金	16,364,000		16,364,000		16,364,000	
社会保険料	1,552,000		1,552,000		1,552,000	
通勤手当	766,000		766,000		766,000	
健康診断費	100,000		100,000		100,000	
勤労者福祉共済掛金	18,000		18,000		18,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	1,386,000	0	1,386,000	0	1,386,000	
旅費	9,000		9,000		9,000	
消耗品費	672,000		672,000		672,000	
会議賄い費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	60,000		60,000		60,000	
通信費	150,000		150,000		150,000	
使用料及び賃借料	200,000	0	200,000	0	200,000	
横浜市への支払分	37,000		37,000		37,000	
その他	163,000		163,000		163,000	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	70,000		70,000		70,000	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	30,000		30,000		30,000	
リース料	55,000		55,000		55,000	
手数料			0		0	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	
事業費	1,336,000	0	1,336,000	0	1,336,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,336,000		1,336,000		1,336,000	
自主事業費			0		0	
管理費	16,986,000	0	16,986,000	0	16,986,000	
光熱水費	3,200,000	0	3,200,000	0	3,200,000	
電気料金	1,410,000		1,410,000		1,410,000	
ガス料金	1,160,000		1,160,000		1,160,000	
水道料金	630,000		630,000		630,000	
清掃費	400,000		400,000		400,000	
修繕費	500,000		500,000		500,000	
機械警備費			0		0	
設備保全費	886,000	0	886,000	0	886,000	
空調衛生設備保守	850,000		850,000		850,000	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	36,000		36,000		36,000	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費	12,000,000		12,000,000		12,000,000	
公租公課	2,040,000	0	2,040,000	0	2,040,000	
事業所税			0		0	
消費税	2,040,000		2,040,000		2,040,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	625,000	0	625,000	0	625,000	
本部分			0		0	
当該施設分	625,000		625,000		625,000	
二一ス対応費	1,461,000		1,461,000		1,461,000	
支出合計	42,634,000	0	42,634,000	0	42,634,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支	0		0	0		

管理許可・目的外使用許可収入	308,000		308,000	0		
管理許可・目的外使用許可支出	37,000		37,000	0		
管理許可・目的外使用許可収支	271,000		271,000	0		

平成29年度 野毛地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域特性、地域ニーズに記載しているもので、対象年度に行う予定のもの <ul style="list-style-type: none"> ・ センターまつりの開催 ・ 自主事業の開催 ・ 野毛大道芸の支援 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公の施設としての管理 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者ニーズの把握と運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者会議の開催(1回) ・ 利用者アンケートの実施(1回以上) ・ ご意見箱の設置(1か所) ・ 地域連絡会の開催(1回) 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者サービス向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業や活動団体の紹介 ・ サークル活動の自主的運営の支援 			
業務運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理運営に必要な組織、人員体制に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急時の体制と対応計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練 ・ 救急救命法研修 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置理念を実現する運営内容 笑顔・親切・安全をモットーに、地区センター設立趣旨や「地区センターは利用者のものである」とする館長憲章を基本に運営します。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用促進策 <ul style="list-style-type: none"> (1) 広報の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの充実 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区センター便りの発行（4回） ・ 広報区版や交通局の広報誌への掲載 ・ タウン情報誌等への掲載 <p>(2) 部屋の使い方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的利用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度利用者数 76,100人 (27年度比 1.0%増) ・ 平成29年度稼働率 79,6% (27年度比 1.0%増) 			
	<p>○ 本市重要施策に対する取組 横浜市中期4か年計画2014～2017の未来づくり戦略の柱の一つである「あらゆる人が力を発揮できるまちづくり」を推進するため、地域の特性やニーズを踏まえて、地域コミュニティの核となるべく、積極的に取り組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地縁団体との連携 ・ 小学校との連携 ・ 野毛大道芸実行委員会への支援 ・ 世代間・新旧住民サークル間の交流 ・ 安心・安全な暮らしのための取組 ・ 地域の子育てへのサポート ・ 地域住民の健康増進 			
	<p>○ 自主事業運営の方針と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の交流を促進する事業の実施 ・ 地域の特徴を生かした事業の実施 ・ 地域の団体との積極的な連携 ・ 地域の課題解決を支援できる事業の実施 			
	<p>○ 施設の維持管理計画 当センターを安心して気持ちよくご利用いただくために、法定点検を基本とする施設維持管理計画を実施します。</p>			
職員育成	<p>○ 管理運営に必要な組織、人員体制</p>			

	に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの			
	○ 個人情報保護等の体制と研修計画 個人情報保護の取扱いをはじめ、さまざまな研修を行います。			
財務	○ 収入計画の考え方 収入計画に関しては、利用者ニーズをきめ細かく把握し、サービスを向上させることで収入の増加を目指します。収入の増加は年度毎の達成目標を設定し、5年間にわたり目標管理に基づく収入増加を図ります。			
	○ 増収策 ・ 利用料収入：27年度比1.0%増 ・ 自販機手数料収入：27年度比1.0%増			
	○ 支出計画 施設の適切な維持管理に取り組みながら、経費の節減を進めます。			
	○ ニーズ対応費の用途 主な用途としては「センターまつり」などの大規模な事業、修繕の必要な設備、利用者のニーズのある備品、追加で実施する自主事業などに対応していきます。			
利用者等の意見	利用者等の意見の把握方法 主な意見、要望	意見、要望に対する対応		

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載